



# 近藤じゅん子 通信 Vol.4

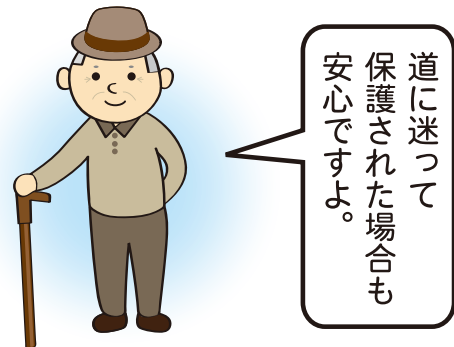
## 近藤じゅん子の質問を受け、「見守りキーホルダー」の無料配布が実現!!

「見守りキーホルダー」は、住所・氏名・緊急連絡先などの情報を登録した番号が入ったキーホルダーです。認知症の症状により、外出に不安がある高齢者が保護された場合、迅速に対応します。登録した人には、衣類に貼り付ける「見守りアイロンシール」も配布します。

**認知症徘徊の身元確認に効果的！  
地域包括支援センターにて登録受付中！**



表 裏  
コールセンターは、安心の24時間／365日対応。



キーホルダーは外出時に携帯電話、バッグや杖などに



- ◆申込場所／地域包括支援センター
- ◆登録事項／本人の住所・氏名・性別・生年月日・電話番号・緊急連絡先氏名(2名)の住所・続柄・電話番号
- ◆対象／区内在住かつ在宅の65歳以上で、認知症の症状があり、見守りが必要な人

【お問い合わせ】  
高齢者福祉課高齢者相談支援係 ☎03-3463-1890

**質問** 現在「防犯対策補助金制度」は無くなりましたが、防犯だけではなく、防災も視野に入れた安全対策として、補助金制度の新設で安全対策を総合的に

### 安全対策補助金制度の新設を

## 安全対策

### 第2回定例会・区議会公明党の代表質問より

平成28年6月9日

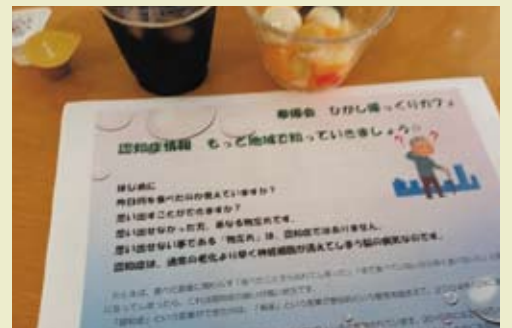
**質問** バックアップしてはいかがでしょうか。  
**答弁** (区長) 本区では、防犯対策費用の一部補助金制度を平成25年に廃止いたしました。平成27年度中の渋谷区の犯罪発生状況を見ますと、侵入窃盗事件の発生件数は226件の発生があり、今後さらに注視してまいります。

## ご存知ですか？「認知症カフェ」

「ひがし優っくりカフェ」(ひがし健康プラザ内)

認知症初期の方や、そのご家族・地域の皆様のご相談に応じるとともに、交流を通して、様々な関わり合いが行える場所です。また、認知症の進行の予防と早期発見などを行い、住み慣れた地域で、いつまでも暮らせるようお手伝いさせていただくカフェです。

コラボ企画として、健康ダンス体操や音楽療法のほか、手作りのおやつやコーヒーなどもご用意しております。



ひがし優っくりカフェ  
渋谷区東3-14-13 ひがし健康プラザ内  
☎03-5466-2681

# 子育て支援

## ①区立保育室について

**質問** 0歳から2歳までの待機児童が利用できる区立保育室を終了したお子さんの区立・私立保育園へのスムーズな移行がなされているのか。

今年状況と来年以降の見通しについて伺います。

**答弁**(区長)本年3月まで、区立保育に在園し、現在3歳児となっている園児は、入園申込みがなかった方を除き、すべて認可保育所、または他の区立保育室に入園しております。

区立保育室は待機児童解消のための暫定的な施設として多くが、2歳児、または3歳児までの受け入れとなっていて、その後の受け皿の確保については課題であると認識しております。

**このため**、本年6月開設の本町一丁目保育室は5歳児までの受け入れとし、平成29年4月には大山保育室を5歳児まで受け入れられる体制を整えます。

また今後は、保育室の中には認可保育園の仮設園舎として規模の大きい施設もあるため、待機児童の発生状況や、委託業者の受け入れ体制等を踏まえ、5歳児までの受け入れについても検討してまいります。

これと併せて、既存保育園や、

今後開設される認可保育所等にの定員設定も、区立保育室の状況を踏まえながら対応し、誰もが安心して預けられる保育環境の整備を進めてまいります。

## ②「シブボラ」の創設を

**質問** 区議会公明党は、昨年末より2度にわたって、「渋谷版ネウボラ」略して「シブボラ」の構想をご提案し、その際、区長より「積極的な検討を進めていく」とのご答弁を頂いております。

「シブボラ」は、子育て世代包括支援センターを核として、地域の関係機関と連携しながら、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を提供する仕組みであり、国も子育て世代包括支援センターを法制化し、平成32年までに全国展開を目指すとしてい

ます。我が渋谷区でも、妊娠からお子さんの就学まで、出来る限り同じ担当者が寄り添い、信頼関係を築きながら的確なアドバイスができる子育て環境の構築が、母子支援だけでなく、家族全

体の心と身体のため、重要なポイントとして大変重要と考

えます。フィンランドでは、このネ



フィンランド発祥のネウボラ

ウボラ構想により児童虐待が激減したとの報告も出ております。

「シブボラ」の現在の進捗状況について、また、保育士・保健師等を「シブボラチーム」として、フィンランドの「ネウボラ」調査、研究し、構築推進に加速するよう、ご提案いたします。

**答弁**(区長)生まれる前から18歳になるまでの総合的で切れ目のない支援を実現するために、各地域の子育て支援センターや保健相談所を拠点とし、各機関の連携を一層深め、区民に身近で使いやすい相談体制の構築に努めてまいります。

また、フィンランド都市交流派遣において、昨年度の保育しに続き、本年度は保健師を派遣することとし、専門的な観点から「ネウボラ」の調査・研究を行うとともに、渋谷版「ネウボラ」の創設に向けて前進してまいります。

## 教育政策

### 子育てコミュニティについて

**質問** 「子ども食堂」が全国的に広がっています。地域で支える子育て支援の一環として、若い世代が親子で地域に繋がりを、子育て・食育という観点からの「子ども食堂」と、家庭環境により充分な勉強時間が確保できない子

どものための「コミュニティ塾」の推進を提案いたします。

**答弁**(区長)本区においては、食事の提供、学習支援、親への養育支援を行う「子どもテーブル」を検討しており、地域の人材や、地元企業の協力を得ながら早期実現

## 環境問題

### 「食品ロス」ゼロに向けて

**質問** 公明党は、「食品ロス削減推進プロジェクトチーム」を立ち上げ、竹谷とし子参議院議員を座長に、食品ロスの問題解決に取り組んできました。

食品ロスの半分は事業者の流通・販売の過程で起き、もう半分は家庭での食べ残しや賞味期限前の廃棄などで発生します。

削減には事業者による取り組みとともに、区民の食品ロスに対する意識啓発も必要と考えます。食品ロス削減の普及・啓発を推進してはいかがでしょうか？

**答弁**(区長)環境問題や、廃棄コストの点、「もったいない」を基本にしたライフスタイルの推進の点からも、区が積極的に取り組む課題と考えております。今後は、様々な機会を捉えて、環境教育や食育による児童、生徒、園児や、区民への啓発、飲食店等の区内事業者への呼びかけを行うなど、食品ロスの削減に向けて取り組んでまいります。

一人の声に真剣！暮らしに全力投球

いつでもお気軽にご相談ください

渋谷区議会議員 近藤じゅん子

- 福祉保健委員会
- 五輪・パラリンピック対策特別委員会

渋谷区議会公明党控室  
TEL. 03-3463-1036 FAX. 03-5458-4962  
携帯 090-2221-7507  
近藤じゅん子のブログ  
<http://ameblo.jp/kondo-junko/>

